

市町村未来づくり交付金自己評価調書

1 事業群評価調書

団体名：八幡市

<p>重点目標</p>	<p>「自然と歴史文化が調和し 人が輝く やすらぎの生活都市 ～自立と協働による個性あふれるまちづくり～」</p> <p>八幡市の主要課題 人権を尊重しだれもが輝く地域づくり、これからの”八幡”を担う人づくりの推進 地域資源を活かしたまちづくりと新しい都市イメージの形成 みんなが安心して暮らせるまちづくりの推進 活力あふれる人がつどう交流のまちづくりの推進 健全な行財政運営と協働によるまちづくりの推進</p>		
<p>事業群</p>		<p>構成事業名</p>	
<p>豊かな自然を守り、循環型の社会づくりを進めるまち ～環境保全、土地利用～ (事業群 c)</p>		<p>自然を守り環境にやさしいまちづくり事業 環境保全活動推進事業 環境教育推進事業</p>	
<p>事業群全体による 成果の概要</p>	<p>○自然を守り環境にやさしいまちづくり事業 自然環境の保全や環境配慮に対する市民意識が向上した。</p> <p>○環境保全活動推進事業 環境配慮型（クリーンエンジン搭載）軽貨物車の使用により二酸化炭素の排出量が削減出来た。</p> <p>○環境教育推進事業 学生の環境問題やリサイクルへの意識を高める事が出来た。</p> <p>※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること。</p>		
<p>成果指標</p>		<p>実績値</p>	
<p>指標式等</p>			

(記載要領)

- 1 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 2 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

事業名		自然を守り環境にやさしいまちづくり事業			
事業の概要	<p>本市では、「人と自然が共生する環境にやさしいまち」の環境自治体宣言を行い、府内4番目である「美しいまちづくり条例」を制定し、その実現のため、豊かな自然を守り、循環型の社会づくりを進めていく中で、まちなみや河川、公園、緑地、田園等の美しく保たれる取組及び市民、行政、事業者が一体となって推進する事業を行った。</p> <p>〈自然環境の保護・育成〉 八幡市内における緑の自然環境の保護・育成を図り、市民一人ひとりの、環境配慮及び生活環境向上の取組みが地球環境の保全につながっており、市民、各団体、行政の一層の協働による取組の強化を図った。</p> <p>花の種苗等購入 1,140,250円 八幡市みどりの条例に基づく奨励金 ふるさとの森 508,391.8㎡×10円/㎡=5,083,918円、ふるさとの木 24本×5,000円=120,000円 川口市民運動公園看板設置 218,190円、さざり公園改修工事 1,575,000円</p>				
	事業期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日			
	総事業費	8,137千円	本年度事業費	8,137千円	交付金交付額
事業評価	事業の必要性	2002年(平成14)年に「環境自治体宣言」を行い、今後もこの宣言を大切に、「豊かな自然を守り、循環型の社会づくり」、「省エネルギーで、環境負荷の小さなまちづくり」に向けた活動を進めなければならない。			
	事業の有効性	自然環境の保全や環境配慮に対する市民意識の高揚に努め、だれもがごく当たり前のこととして環境負荷を小さくすることの積み重ねが、「自然環境の保全」「循環型社会の構築」を実現する。			
	事業の効率性				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
		4 広域的波及成果			
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果 自然環境の保全や環境配慮に対する市民意識が向上した。					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

事業名		環境保全活動推進事業			
事業の概要	<p>本市では、平成14年度に「環境自治体宣言」を行い、「人と自然が共生する環境にやさしいまち」にしていくことを決意し、身近なところから地球温暖化防止等の地球規模に至る環境保全に取り組んでいる。環境自治体宣言をしたまちにふさわしく、環境配慮型(クリーンエンジン搭載)軽貨物車を購入し、より低公害化を図り、今後の低公害化の推進と市民啓発に活用した。</p> <p>公用車整備事業 環境配慮型(クリーンエンジン搭載)軽貨物車 ニッサン クリッパー 2台</p> <p>八幡人權・交流センター分 1台 900千円 総務課分 1台 955千円</p>				
	事業期間	平成21年5月11日～平成21年6月30日			
	総事業費	1,855千円	本年度事業費	1,855千円	交付金交付額
事業評価	事業の必要性	本市では、平成14年度に「環境自治体宣言」を行い、身近なところから地球温暖化防止等地球規模の環境保全に取り組んでおり、今後の低公害化の推進と市民啓発としても活用するため、環境配慮型(クリーンエンジン搭載)軽貨物車の導入を図る必要がある。			
	事業の有効性	第4次八幡市総合計画において、「市域における温室効果ガス排出量」を平成28年度までに直近の現状である315,089t-co2/年の削減することを成果指標として設定しており、この事業についてもこの指標達成への取り組みのひとつである。			
	事業の効率性				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果			
		3 リーディング・モデル成果			
		4 広域的波及成果			
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果 環境配慮型(クリーンエンジン搭載)軽貨物車の使用により二酸化炭素の排出量が削減出来た。					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名:八幡市

事業名		環境教育推進事業					
事業の概要	事業の概要	<p>今日の環境問題は、資源やエネルギーの大量消費による環境負荷の増大が原因となっています。大量生産、大量消費、大量廃棄を基調とした社会経済活動により、私たちの日常生活そのものが環境への負荷を増大させ、地球温暖化やオゾン層の破壊など地球規模で環境を脅かし、自らの生活基盤を危うくしています。本市においても、開発等に伴う大気汚染や騒音など、自然環境のみならず市民生活環境に与える影響が懸念されます。また、マナーの低下による生活環境の悪化を指摘する声も多くなっています。</p> <p>このような状況のなかで、環境教育や環境学習の取り組みが重要となっているので、市立男山第二中学校において、環境学習授業を実施した。</p> <p>・主な内容 環境学習授業開催 ビデオカメラ、顕微鏡、水質測定器、透視度計、消費電力測定器等を活用した環境問題の取り組み 職員研修・エコスクール活動発表会等開催</p>					
	事業期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日					
	総事業費	4,390千円	本年度事業費	4,390千円	交付金交付額	2,100千円	
事業評価	事業の必要性	環境に配慮した暮らしを当然のこととしてとらえ行動していく必要があり、若い頃からの教育によって、そうした行動が自然と身につくよう指導する必要がある。					
	事業の有効性	環境問題やリサイクルの意識を高め、地球規模の環境破壊を足元から食い止めていくことにより良好な環境を将来の世代に引き継いでいくことができる。					
	事業の効率性						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果 学生の環境問題やリサイクルへの意識を高める事が出来た。							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。